

## 開発関連部門の集約がもたらす シナジーと一貫開発体制を活かして

2013年6月、理想科学は新たな開発拠点として「理想開発センター」を開所しました。同センターは、これまで茨城県内4カ所に分散していた開発関連部門を集約したもので、「開発者が自由な発想を育むための開発環境を提供すること」、「コミュニケーションを促進することで開発効率の向上を図ること」の2点が設立のねらいです。

コミュニケーションの深化により生み出されるシナジーと、ハードウェアからインク・マスターなどの消耗品、ソフトウェアまで一貫して開発できる体制を活かし、世界のお客様のニーズに応えていきます。



組織の枠を越えて自由に交流できる  
コミュニケーションスペース



2階から7階を吹き抜けとした  
開放感のあるアトリウム

## Safety (安全、安心)、Sustainable (持続的な)、 Saving (節約、省資源) をコンセプトに

2011年3月に発生した東日本大震災の経験を踏まえ、地震などの災害が発生した場合の安全対策、業務継続対策に十分配慮するとともに、平常時にも効果のある持続的な省エネルギー対策を行っています。

環境配慮の視点からは、自然エネルギーの活用を図る最新の高効率設備・機器を取り入れ、CO<sub>2</sub>排出量の削減、省電力化を図っています。

安全・事業継続対策としては、耐震強度を高め建物の揺れを小さくするとともに安全性に配慮した構造としています。また、災害時の事業継続に向けて自家発電設備、災害時用汚水貯留槽を設置しています。



屋上に設置したソーラー  
パネルと自然光を屋内に  
取り込むための太陽光自  
動追尾装置



自家発電設備



風力発電装置



地中熱利用ヒートポンプ  
の設置

CLOSE UP

# 「理想開発センター」誕生

世界に類のないものを創る、新たな開発拠点を開所

### ●センター概要

事業所名：理想開発センター

所在地：茨城県つくば市荻間523番地（学園南D29街区1）

規模：本棟（地上7階）および付属棟

敷地面積：17,520平方メートル

延床面積：14,970平方メートル

